

第58回化学関連支部合同九州大会報告

第58回化学関連支部合同九州大会がオンラインにて行われ、大変盛況のうちに終わりました。化学工学会九州支部では、66件のポスター賞応募発表に対し39人の審査員で化学工学分野の審査を行い、下記の優秀発表者14人をポスター賞として表彰いたします。これらの発表者には、化学工学会九州支部より賞状と副賞(図書カード3000円分)が郵送されます。ここに受賞者の栄誉を称えますと共に、ポスター賞審査にご協力頂きました審査委員の先生方に厚く御礼申しあげます。

大会日時・概要

日時: 令和3年7月3日

場所: オンライン (Zoom)

概要: 依頼講演8件、一般ポスター発表528件(うち化学工学分野から、依頼講演1件、一般ポスター発表78件) ※発表登録件数

化学工学会九州支部推薦 依頼講演

武井 孝行 先生(鹿児島大学)

“バイオインスパイアードカプセル作製法”

ポスター賞受賞者(順不同、敬称略)

森翔一郎(九州大学)

“リプログラミング技術を用いた肝内胆管の作製と胆汁排泄評価”

横峯冴映(北九州市立大学)

“シリコーン培養基材を利用した細胞の高機能培養”

田中敬佑(九州大学)

“Solid-in-Oil化技術を用いた経皮マラリアワクチンの創製”

山城寿(九州大学)

“肝細胞の中空糸内三次元培養における生存率解析とその向上に関する検討”

中村光児(九州大学)

“ペプチド共集合体システムによるナノ構造体の形状制御と細胞作用”

伊藤泰我(九州大学)

“内皮細胞ネットワークと肝細胞シートの積層による三次元肝組織形成”

陳野莉子(崇城大学)

“新規ナノ粒子を用いた造腫瘍性細胞の排除機構に関する研究”

草野まお(崇城大学)

“骨芽細胞のハイドロキシアパタイト担体を用いた人工培養骨作製に関する研究”

金子悠哉(九州大学)

“トランスジェニックニワトリ作製のためのゲノム編集技術を用いたニワトリ染色体改変技術の開発”

内田和希(九州大学)

“酵素的脂質修飾によるタンパク質の膜ドメイン選択的濃縮”

井元乃絵(佐世保高専)

“酵素触媒反応仲介型アルブミンゲル化剤の開発とその諸特性評価”

熊本聖菜(佐賀大学)

“SiO₂@高分子電解質ゲルを用いた移流集積法による粒子膜の作製”

田中雄大(佐賀大学)

“ジホスホン酸型キレート試薬の合成と希土類元素の抽出分離”

岩切雄飛(宮崎大学)

“脂環式ケトン化合物によるAu(III)のイオン溶媒和抽出特性”

審査委員氏名(敬称略、順不同)

審査委員長: 大渡啓介(化学工学会九州支部)

会計幹事兼支部長代理)

審査取りまとめ役: 松根英樹(Q-NET 会長)

審査委員(37名):

中澤浩二、西浜章平、山村方人、高辻義行、上平正道、河邊佳典、田中学、水本博、名嘉山祥也、井嶋博之、堺裕輔、星野友神谷典穂、南畑孝介、若林里衣、藤ヶ谷剛彦、相田卓、シャーミン・タンジナ、大河平紀司、石川元人、川喜田英孝、森貞真太郎、森山幸祐、田中泰彦、松本陽子、石田誠一、後藤浩一、松下琢、古水雄志、櫻木美菜、大島達也、大柴薫、稲田飛鳥、菅本和寛、吉田昌弘、武井孝行、水田敬

(九州支部庶務幹事 井上元)